

自我

「何とわたしは苦悩している者でしょう！
だれがこの死の体からわたしを
救い出してくれるのでしょうか？」(ローマ 7:24)。

「わたしはキリストと共に十字架につけられました。
生きているのはもはやわたしではありません。
キリストがわたしの中に生きておられるのです」
(ガラテヤ 2:20 前半)。

自我の中の人、律法の下で善を行なって神を喜ばせようとし
ますが、死の体のゆえに苦悩している、みじめな状態にありま
す。このように、神を喜ばせる事を行なうことで弱く無能のゆえ
に、悩んでいるわたしたちには神のあわれみが必要です。

そのため、神は自我に対して道を用意しました。わたし(自我)
がキリストと共に十字架につけられたこととキリストが命とな
り人の内に生きることです。

「わたし」という生まれながらの人は、律法を守って、完成され
ようとする傾向があります。しかし、神はわたしたちがキリスト
を生きることを願われます。

ですから、人には二つの選択があります。律法を守って完成さ
れようとする生まれながらの人の苦悩の道とキリストを信じ、
受け入れキリストを生きる喜びの道です。

あなたはどちらの道を歩みたいですか？